


No.	箇所	状況と点検結果	対策の主体	進捗状況(対策中の場合)	対策済でない場合の予定	その他担当課の考え等	8月25日点検結果	令和5年3月末状況	現地写真	
二①	サンライフファミリーホール二宮前の横断歩道(二宮1152付近)	通行車両の往来が多く、接触事故の危険があるため注意喚起のための看板設置および白線の引き直しを希望。 【点検結果】 県道沿いの児童が横断する横断歩道や原田道から県道へ出る部分の停止線ははっきり視認できる。 ①の箇所に看板の設置を検討しつつ、登下校指導を継続的にしていく。	防災安全課		・交通安全啓発看板の設置を検討		①の看板設置を検討	看板(通学路注意)設置済み(11/8時点)	  ①「横断注意」または「通学路注意」の看板設	
			警察					停止線を確認できたため、対応しない。		対応しない
			都市整備課							
			学校					引き続き登下校指導を行う。		
			教育委員会							
二②	たけすえ小児科の前の道とたご薬局駐車場の横の道の十字路(二宮904~928周辺)	元町南(谷戸地区)と元町北(妙見地区以外)の通学路。令和2年度の下校時、車と児童の接触事故が2件あった。飛び出し注意の看板等を設置していただいたが、スピードを出す車が非常に多く、見通しが悪く危険。 【点検結果】 既に注意喚起の看板が2箇所設置され、地域と学校による登下校指導も行われている。道路の幅員から、横断歩道を敷くことは困難なため、写真②のような道路標示を検討する。	防災安全課		・現場を確認し、より効果が大きいと見込まれる場所がある場合には看板の移設、増設を検討。		看板を2か所設置済(写真①)	対応済み	  ①看板設置済1 ②道路標示検討 ①看板設置済2	
			都市整備課			路面に注意喚起の啓発を行うよう検討する。	②の道路標示を検討	令和5年度道路標示設置予定		
			警察							
			学校							
			教育委員会							
二③	富士見が丘入口信号付近の竹林の斜面(富士見が丘1-2-2付近)	竹林のガード柵が途切れている箇所がある。強風時は倒れる危険がある。 【点検結果】 斜面地の手入れや台風前後の見守りも行われており、今後も継続しつつ、策の無い箇所への設置を検討する。	都市整備課	竹林の伐採を定期的に行い、倒れる危険のある竹を除去している。	合同点検等で現場を確認したうえで、ガード柵の設置を検討したい。		定期的な見回りと斜面の管理を実施しつつ、柵の設置を検討する。	対応済み	  柵が途切れている箇所への設置検討	
			防災安全課							
			警察							
			学校							
			教育委員会							
二④	萬壽屋前(二宮329-1)	道が狭く、登校時は歩行者や車の往来も多く、危険。 【点検結果】 国道から袖が浦海岸方面への一方通行となっている道路。国道への注意喚起の路面標示や看板設置は困難で効果が薄い。 道幅が狭く、車両もスピードを出すことはできないため、現状は登下校指導を行い、注意して通行していただく。	防災安全課		・現場を確認し、設置可能な箇所があれば、交通安全啓発看板の設置を検討。		効果的な看板設置位置がなく、設置は困難。	対応しない	  30	
			都市整備課							
			警察							
			学校					引き続き登下校指導を行う。		
			教育委員会							

No.	箇所	状況と点検結果	対策の主体	進捗状況(対策中の場合)	対策済でない場合の予定	その他担当課の考え等	8月25日点検結果	令和5年3月末状況	現地写真
二⑤	JR沿いのグループホームはなの家前の側溝の蓋(二宮490-1付近)	両側から車の通行があり、道が細いため、登校時、道の左側の側溝の蓋の上を通行するが、亀裂や大きな段差、穴があり危険。 【点検結果】 傷みのある側溝のフタについては交換する。大きな穴は確認できなかったが、フタとフタの間にすき間が空いている箇所は間詰めを行う。	都市整備課 防災安全課 警察 学校 教育委員会			現地確認を行い、交換が必要と思われるものについては交換を行う。	①傷んだフタの交換 ②フタとフタのすき間への間詰め	令和4年度中に対応する。 ⇒①対応済み ②実施済み	 ①傷んだフタの例  ②フタとフタのすき間の例
二⑥	ダイハツ付近の歩道(二宮762-1)	通勤通学の時間帯は県道とcoop前の道に出入りする車両が多く、人の往来も多いため、交錯して危険である。 【点検結果】 県道沿いの児童が横断する横断歩道や県道接続部分の停止線ははっきり視認できる。また、既に①の箇所に看板が設置されている。登下校指導を継続的に行っていく。	防災安全課 都市整備課 警察 学校 教育委員会		・現場を確認し、設置可能な箇所があれば、交通安全啓発看板の設置を検討		既に看板が設置されており、効果的な増設箇所がない。	対応しない	 ①看板設置済 
二⑦	旧山西子どもの広場(山西35-14)	昨年度、広場がなくなり道路になったがスピードをだして通る車両が多く、危険。 【点検結果】 広場跡地には写真のとおり車止めがあるが、その先の通学路は幅員が狭く危険。①の電柱に看板を設置する方向で、電柱が建っている民家の住民へ調整する。	防災安全課 都市整備課 警察 学校 教育委員会		・現場を確認し、設置可能な箇所があれば、交通安全啓発看板の設置を検討	新規道路部分は両端T型交差点かつ距離が16mと短く、スピードが出せるとは思えないが、児童に安全確認しながら通行するよう指導をお願いしたい。	①の看板を設置する方向で調整する。	看板(スピード落とせ)設置済み(11/8時点)	 登校班集合場所 ①「通学路注意」または「スピード落とせ」の看板設置を検討  通学路
二⑧	内原人道橋北側の横断歩道(山西961付近)	登校時見守りの方が旗振りをしてくださっているが、児童が歩道橋の階段を下りるタイミングと車を止めるタイミングがあわず、走って下りる児童もおり危険。また、スピードを出して走る車両も多く、危険である。 【点検結果】 人道橋を下ってすぐに横断歩道となるため、見通しが悪い。駅に向かって下り坂となっているため、車両のスピードも出るが、キャッツアイなどの突起物は、騒音の原因にもなるため設置が困難。抜本的な対策は難しいが、以下の3点を検討する。 ①子どもが飛び出さないようポールを設置 ②上記①または歩道に足跡マークを設置 ③車道のダイヤマークを復元	防災安全課 都市整備課 警察 学校 教育委員会		・現場を確認し、設置可能な箇所があれば、交通安全啓発看板の設置を検討		②路面に足跡マークを検討	道路の舗装状況から足跡マークの作成は厳しいと判断 ①令和5年度設置予定 ③令和4年度スピード抑制表示の設置を行う ⇒③道路面にスピード抑制表示を設置	 ①ポール設置検討  ②足跡マーク検討  ③ダイヤマーク検討 

No.	箇所	状況と点検結果	対策の主体	進捗状況(対策中の場合)	対策済でない場合の予定	その他担当課の考え等	8月25日点検結果	令和5年3月末状況	現地写真	
二⑨	二宮1268から1267付近の交差点	<p>旧県道から知足寺方面へ向かう車両の往来が多く、交通量が多い中、児童が歩くので注意喚起が必要。</p> <p>【点検結果】 通行量が多く、道幅も狭いため、スピードを上げて通り抜ける車両もある。注意喚起のため、①の電柱への看板設置と、②付近への道路表示を検討する。</p>	防災安全課			・交通安全啓発看板の設置を検討	①の看板設置を検討	看板(スピード落とせ)設置済み(11/8時点)		
			都市整備課				②通学児童が重なるポイントへの道路表示を検討。	令和5年度路面標示設置予定		
			警察							
			学校							
			教育委員会							